



令和5年度 第4回理事会 ((公社)日本食品衛生協会) 第4回理事会 (日本食品衛生共済協同組合) 第76回 全国支部長会議 開催

令和6年3月22日(金) 食品衛生センター6階講堂において、午後0時30分より、令和5年度 第4回理事会(日食協)、午後2時より令和5年度 第4回理事会(日食共組)、午後2時30分より第76回全国支部長会議を開催いたしました。

第4回理事会(日食協)は鵜飼良平理事長の開会あいさつに始まり、令和5年度の報告事項を説明後、承認事項として、「[支部・支所組織の再編、改革に関する会議開催に対する助成金]実施要領の一部改定について」「支部常勤役員等に対する日本食品衛生協会理事長感謝状の贈呈要領について」「新規加入特別会員について」「顧問の委嘱について」の案をお示しし、承認されました。

引き続き、「令和6年度事業計画(案)」「令和6年度収支予算(案)」「資金調達及び設備投資の見込みについて(案)」「役員賠償責任保険の契約締結について(案)」「令和7年度における正会員会費算定基準について(案)」の5つの議案が承認されました。

その後開催された第4回理事会(日食共組)は、鵜飼良平理事長の開会あいさつで始まり、「令和6年度事業計画(案)」「令和6年度収支予算(案)」等の議案を提出し、全議案が承認されました。

第76回全国支部長会議では、厚生労働省健康・生活衛生局 総務課 岡部 史哉 課長よりごあいさついただいた後、能登半島地震で甚大な被害を受けられた石川県支部に対し、全国58支部および1団体より1,100万円を超える義援金が集まり、石川県直江支部長へ目録の贈呈が行われました。本会議では、小熊 正志 新潟県支部長を議長に、理事会で承認された令和6年度事業計画等について説明を行いました。

(総務部)



理事会(日食協)の様子



全国支部長会議で石川県支部へ目録を贈呈

CONTENTS バックナンバーをHP (<http://www.n-shokuei.jp/>)に掲載中

- 令和5年度 第4回理事会(日食協、日食共組)・第76回 全国支部長会議 開催 1
- 第11回 組織改革委員会 開催/第9回 事業運営委員会 開催 ... 2
- 令和6年度 ブロック大会開催に向けて 3
- 令和6年度 日食協 年間主要行事/令和6年度日食協HACCP 人材育成事業 基礎研修のご案内 4
- 令和6年度における「あんしんフード君」推進強化事業について/2024年5月の実習研修会のご案内 5
- 共済金支払状況 6
- (広告) 7
- 出版インフォメーション 8

報告

第11回 組織改革委員会 開催

令和6年2月26日(月)午後2時より、食品衛生センター6階講堂にて、第11回組織改革委員会を開催いたしました。

委員長に岩井委員(兵庫県支部長)、副委員長に長谷川委員(山形県支部長)ならびに古川委員(佐賀県支部長)が選任され、岩井委員長を議長に議事が進行されました。

はじめに、事務局より各都道府県市食品衛生協会を対象に行った支部支所の運営等に関する調査について報告したのち、協議事項では以下の議題について活発な意見交換が行われました。

○会員増強への今後の取組みについて

事務局より「各支部別支所数の推移」「各支部別会費収入の推移」「『支部・支所組織の再編、改革に関する会議』開催状況」「食の安心・安全・五つ星事業の推進」について説明いたしました。

支所の役・職員の後継問題や保健所の統廃合を受け、支所の合併を実施・検討せざるを得ない状況が各地域に散見しているなか、食の

安心・安全のため、全域で食協として活動できるよう努める必要があります、支部での実情を会員増強に関する取組みも含め情報交換し、ご意見をいただきました。

○令和7年度の日食協基準会員数について

案をお示しし、ご意見をいただきました。

(総務部)



岩井委員長

委員会の様子

報告

第9回 事業運営委員会 開催

3月8日(金)午後2時より、食品衛生センター6階講堂にて、第9回事業運営委員会を開催いたしました。5つの委員会の締めくくりとなる本委員会は、食品衛生の向上を図るうえで必要となる日食協の各種事業全般にわたる検討を行い、もって業界の発展ならびに国民の健康増進に資することを目的としております。

委員長に福島委員(広島県支部長)、副委員長に阿部委員(秋田県支部長)、原田委員(神戸市支部長)が選任され、福島委員長を議長として、議事が進行されました。

日食協 塚協専務理事ならびに福島委員長のあいさつからはじまり、事務局から先に行われた各委員会の報告を行いました。その後、協議事項として、以下の議題について活発な協議が行われ大変貴重な意見交換の場となりました。

○令和7年度の日食協基準会員数について

○「支部・支所組織の再編、改革に関する会議開催に対する助成金」実施要領の一部改訂について(案)

○食の安心・安全・五つ星事業の推進について(案)

○支部常勤役員等に対する日本食品衛生協会理事長感謝状の贈呈要領について(案)

委員会にて挙げた意見や課題を今後の食協活動に活かし、各支部の活動がより活性化されるよう、努めてまいります。

(総務部)



福島委員長

塚協専務理事の挨拶

告知

令和6年度 ブロック大会開催に向けて

北海道・東北ブロック 開催地：仙台市支部

ようこそ「杜の都」仙台へ

- ◆令和6年7月4日(木)
- ◆参加予定 約180名
- ◆仙台ガーデンパレス



望月 寛 会長

令和6年度北海道・東北ブロック大会を仙台市で開催いたします。

HACCPによる衛生管理の推進、食中毒防止対策、食品衛生協会の運営などさまざまな課題について、皆さまとの活発な意見交換、情報共有を進めたいと思います。

7月、まさに「杜の都」、街路が美しい櫓で満たされる仙台でお待ちしております。

関東甲信越ブロック 開催地：東京都支部

“伝統と革新が融合する街”
東京へようこそ

- ◆令和6年7月11日(木)
- ◆参加予定 約150名
- ◆京王プラザホテル



鵜飼 良平 会長

東京都支部は、日本食品衛生協会とともに、浅草に拠点を移しました。浅草は、“東京屈指の観光地”多くの観光客が国内外より訪れるため、食の安全の確保は重要な責務だと、改めて感じています。皆さまとともに食協が抱えるさまざまな課題について発展的な意見・情報交換の場となるよう努めてまいります。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

東海北陸ブロック 開催地：富山県支部

富山の絶品
「とやま湾寿司」を食べに行こう！

- ◆令和6年6月6日(木)
- ◆参加予定 約200名
- ◆カナルパークホテル富山



翠田 章男 会長

北陸新幹線の敦賀延伸により、東京、京都からわずか2時間8分の地、「富山市」でブロック大会を開催します。「HACCPに沿った衛生管理の定着」等について、充実した意見交換の場としたいと考えております。大会後には、立山連峰の山容や水の恵、天然の生け簀のホタルイカや白エビ、富山湾寿司をご堪能ください。

近畿ブロック 開催地：大阪支部

まいど！食のミヤコ大阪へ

- ◆令和6年6月13日(木)
- ◆参加予定 約300名
- ◆シェラトン都ホテル大阪



津田 孝治 会長

2025年大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」であり、「幸福な生き方とは何か」を正面から問う初めての万博といわれています。

私たち食品衛生協会も「安全と安心の食生活を目指して」を一つのテーマとしており、実現するためには、協会としての役割や各所との連携について活発な意見や情報交換が必要不可欠と考えています。本大会がそのような有意義な場となるよう努めてまいりますので、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

中・四国ブロック 開催地：島根県支部

ようこそ 神々の集う島根に!!

- ◆令和6年7月17日(水)
- ◆参加予定 約350名
- ◆島根県民会館／ホテル一畑



藤井 祥一 会長

アフターコロナに向け明るい兆しも見えてくるかと思いきや、世界情勢の不安定化などの影響もあり、原材料・使用部材費の他運送費に至るまで諸経費の高騰にわれわれ食品業界の苦闘はまだまだ続きそうです。こうした諸課題に対処していくためにも、ブロック会員が一堂に会し発展的な意見交換を行っていきます。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

九州ブロック 開催地：沖縄県支部

伝統ある琉球料理・泡盛等の
食文化と王国時代の史跡、
美しい海と空をお楽しみ下さい

- ◆令和6年7月18日(木)
- ◆参加予定 約1,100名
- ◆沖縄コンベンションセンター



佐久本 武 会長

沖縄県は、琉球王国時代より受け継がれる文化とエメラルドグリーンの海、白い砂浜、スカイブルーの青空が広がり、自然豊かな国内有数のリゾート地であります。

この大会で会員が参加して「食の安全・安心」への取り組みや各支部間の情報交換を行い多数の参加で意義ある大会になるよう準備を進めているところです。

皆さまのお越しを会員一同お待ちしております。

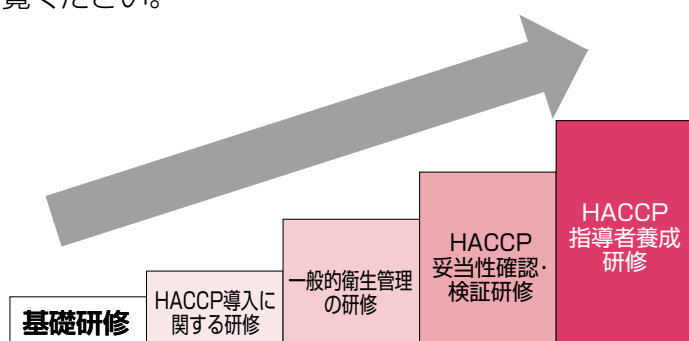
令和6年度 日食協 年間主要行事

- 5月24日(金) 理事会[決算](日食協) 会場：食品衛生センター
- 6月6日(木) 東海北陸ブロック大会 開催地：富山県
- 6月13日(木) 近畿ブロック大会 開催地：大阪
- 6月21日(金) 定時総会(日食協)・通常総代会(日食共組) 会場：食品衛生センター
- 7月4日(木) 北海道・東北ブロック大会 開催地：仙台市
- 7月11日(木) 関東甲信越ブロック大会 開催地：東京都
- 7月17日(水) 中・四国ブロック大会 開催地：島根県
- 7月18日(木) 九州ブロック大会 開催地：沖縄県
- 8月1日(木) 第49回食品衛生懇話会(予定)
- 9月上旬 表彰中央審査会
- 10月23日(水) 全国支部長会議 会場：食品衛生センター
食品衛生指導員全国大会 会場：浅草公会堂
- 10月24日(木) 食品衛生功労者・食品衛生優良施設等表彰式 会場：明治座
- 1月20日(月) 新春賀詞交歓会 会場：浅草ビューホテル
- 2月～3月 各委員会 会場：食品衛生センター
- 3月 理事会[予算] 会場：食品衛生センター

告知 令和6年度日食協HACCP人材育成事業 基礎研修のご案内

HACCPに沿った衛生管理が完全義務化されて、早くも3年になろうとしています。事業者の皆さまの運用状況はいかがでしょうか。日食協では、本年度もHACCPに沿った衛生管理の導入のための基礎講座、コーデックスHACCPを学ぶ研修や指導者を養成するための研修等を実施してまいります。

今回は、食品製造にかかわる微生物の基礎やHACCPと一般衛生管理等の理解を深めていただくための基礎研修をご案内いたします。新入社員の方や新たに配属される方、初めて食品衛生に携わる方が向けのZoomを使ったライブ配信研修となります。詳細はホームページをご覧ください。



HACCPに基づく衛生管理の研修会ステップ

開催日程

- 令和6年5月23日(木)
- 令和6年6月20日(木)

いずれも

13時～17時30分(予定)

(公益事業部HACCP事業課)

告知 令和6年度における「あんしんフード君」推進強化事業について

令和6年度も引き続き、さらに「あんしんフード君」を中心とした普及を図っていくため、推進目標を設定するとともに、「あんしんフード君」加入割合が年間51.6%（令和6年2月現在）となっていますが、加入件数が集中しているものの40%台と切り替えが低迷している期間を推進強化期間と設定することで「あんしんフード君」の推進を強化してまいります。

令和5年度までは、6月～9月計上分を推進強化期間としておりましたが、皆さまのご尽力により6月計上分の「あんしんフード君」加入率が50%を超え、一定の効果が認められました。令和6年度の推進強化期間は**7月～9月計上分**（6月20日～9月5日受付分）といたします。

1. 「あんしんフード君」年間目標件数の設定

268,280件（2事業年度前の食品営業賠償共済加入件数）

2. 「あんしんフード君」推進目標報奨金の設定

【報奨金①】

推進目標に対する達成率に応じ報奨金を交付。

ただし、前年度実績を下回った支部は交付対象としない。

【報奨金②】

令和6年度「あんしんフード君」増加件数100件につき5万円を交付する。

達成率	報奨金額
80%以上	30万円
70%以上80%未満	20万円
60%以上70%未満	15万円
50%以上60%未満	10万円

3. 「あんしんフード君」推進強化期間の設定

i) 推進強化期間：7月～9月計上分（6月20日～9月5日受付分）

ii) 推進強化期間加入促進費

① 「あんしんフード君」新規件数×1,000円

② 共済掛金増加額×10%

（共済部）

こちら
食品衛生研究所

2024年5月の実習研修会のご案内

食品衛生研究所（東京都町田市）では、食品検査や品質管理等の業務に携わる皆さまの知識や技術の向上を支援する実習研修会を開催しています。食品微生物分野の経験豊富な講師とスタッフをそろえ、当所にある充実した実習室で、各自が手を動かす実習を行っています。研修では、単に操作の実習を行うに留まらず、手技のコツ等についてもご紹介します。また、日頃抱えている検査に関する疑問についてもお答えします。

5月は下記の内容で開催いたします。

コース：食品微生物入門1日

概要：初めて細菌検査を始める方に、細菌検査の操作等の基礎を学んでいただく内容です。手技が確かでない、得られた結果の信頼性は低くなります。そのために基礎が重要です。研修では、初心者に必要な用語の説明から始め、細菌数、大腸菌群、黄色ブドウ球菌検査に必要な混濁培養法や塗抹培養法について、しっかりと学べるプログラムです。

開催日：5月24日（金）

受講料（税込）：食協会員 33,000円

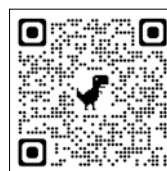
一般 39,600円

● 詳しくは、食品衛生研究所ホームページをご確認下さい。

<https://jfha-lab.jp/seminar-info/>

● お問い合わせ先：検査事業部検査事業課

TEL:042-789-0212 E-mail: kenshu@jfha.or.jp



ノロウイルス食中毒による高額な支払い事例、いざというときに備えた補償の検討を！ 「あんしんフード君」・「食品営業賠償共済」共済金支払い状況

Close Up 解説

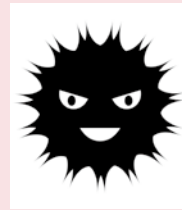
さまざまな状況に対応できる「あんしんフード君」のご案内を！

厚生労働省による全国食中毒統計によれば令和5年に最も多く被害者を出した食中毒の病因はノロウイルスであり、食品事業者にとって留意すべき食中毒であると言えます。

ノロウイルス食中毒は被害が拡大しやすく、行政からの営業停止命令等による休業損害、施設の消毒費用など被害者への損害賠償金以外に費用がかかることもあるため、損害が高額になりやすい特徴があります。

今回も加入者が製造した生菓子を原因としてノロウイルス食中毒の高額な支払い事例が発生しました。被害者377名に対して損害賠償金6,926,963円、休業補償金739,274円、消毒費用や食事代の返金といった各種費用683,033円その他、特別費用として766,623円、合計9,115,893円をお支払いしております。

食品事業者がいざというときにノロウイルスに対応するためには食中毒だけでなくさまざまな補償が必要となります。会員の皆さまには万が一の際に備え、ノロウイルス食中毒にも対応ができる「あんしんフード君」をおすすめ頂きますようお願い申し上げます。
(共済部)



No	事故分類	事故区分	事故発生日	共済加入		加入コース	営業種類	年間掛金(円)	事故の状況	被害者数	共済金額(円)	
				支部	支所			休業掛金(円)				
1	食中毒	カンピロバクター	2023.10.28	山形県	山形	あんしんフード君	飲食店 食品製造業 食料品販売業	32,400 7,700	提供した料理によるカンピロバクター一食中毒。	9	賠：148,540 休：241,802 特：39,034 計：429,376	
2		サルモネラ	2023.11.22	東京都	西東京	レギュラー	飲食店	8,000 施：5,600 2,900	提供した料理による食中毒。被害者からの損害賠償請求はなし。休業期間7日間分の休業補償金を支払った。	-	休：293,769 特：29,377 計：323,146	
3		ノロウイルス		2023.01.25	新潟県	十日町	あんしんフード君	食品製造業	25,800 1,600	提供した商品によるノロウイルス食中毒。賠償金の他に休業期間27日間のうち15日間分の休業補償金および各種費用にて消毒費用、生産物自体の損害額を支払った。	377	賠：6,926,963 休：739,274 特：766,623 消：599,934 生：83,099 計：9,115,893
4				2023.08.24	兵庫県	但馬	あんしんフード君	飲食店 食料品販売業	8,500 900	提供した料理によるノロウイルス食中毒。損害賠償金のほかに各種費用にて被害者治療費、生産物自体の損害額を支払った。	76	賠：554,330 特：55,433 被：98,124 生：80,400 計：788,287
5				2023.03.10	福島県	いわき	レギュラー	食品製造業 食料品販売業	1,400	製造および販売したパンによるノロウイルス食中毒。姉妹店と共同で製造しており、過失割合5割で認定した。	38	賠：442,405 特：44,541 計：486,946
6				2023.09.25	横浜市	青葉区	あんしんフード君	すし	32,400 9,300	提供した寿司によるアニサキス食中毒。休業期間1日間分の休業補償金を支払った。	-	休：140,652 特：14,065 計：154,717
7		アニサキス		2023.12.15	富山県	高岡	あんしんフード君	食料品販売業	3,500	販売した白子によるアニサキス食中毒。	1	賠：104,531 特：10,453 計：114,984
8	混入物	異物混入	2023.11.22	埼玉県	坂戸	スーパー あんしんフード君	飲食店	8,500 600 傷：24,900	提供したヤンニョムチキンに骨が混入しており、喫食したお客さまが歯を欠損した。	1	賠：261,000 特：26,100 計：287,100	
9	施設賠償事故		2023.01.14	埼玉県	熊谷	あんしんフード君	飲食店	8,500 900	店舗の窓枠に取り付けられていた棚が落下し、来店客に接触し負傷させた。	1	施：1,422,380 特：142,238 計：1,564,618	
10		施設リスク	2023.06.17	岡山県	倉敷市	あんしんフード君	飲食店	8,500	お客さまが店舗内の段差に躓き負傷した。賠償金のほかに各種費用にて被害者治療費を支払った。	1	施：371,904 特：37,190 被：22,425 計：431,519	
11			2023.12.23	新潟県	中越	あんしんフード君	食品製造業	5,500	除雪中に小石が飛び、駐車車両に当たり破損させた。	-	施：234,135 特：23,414 計：257,549	
12		業務リスク	2023.10.22	北海道	江別	あんしんフード君	仕出し・弁当	206,600	従業員が取引先のエレベーターに誤って配膳台をぶつけ、破損させた。	-	施：227,700 特：22,770 計：250,470	
13	賠償事故	受託物リスク	2023.08.19	岡山県	倉敷市	あんしんフード君	食品製造業 食料品販売業	5,500	加入者店舗にある冷凍倉庫の設定温度が誤っており、取引先から預かった商品が解凍されてしまい損害を与えた。	-	受：500,000 特：50,000 計：550,000	
14	賠償	旅館宿泊者賠償	2023.10.26	茨城県	ひたちなか	あんしんフード君	旅館 (m)	28,600 旅：4,800	宿泊客が施設のドアのクロスを誤って破損させた。	-	旅：71,500 計：71,500	
15	その他	被害者治療費等	2023.07.15	宮崎県	宮崎市	あんしんフード君	飲食店	8,500 900	店舗駐車場でお客さまが砂利に足を踏んで転倒し、負傷した。各種費用にて入通院見舞金を支払った。	1	被：130,000 計：130,000	
16				2023.12.30	石川県	金沢市	あんしんフード君	飲食店	8,500	来店客がドアを閉めようとしたところ、ドアが外れて指を切断した。各種費用にて被害者治療費を支払った。	1	被：100,000 計：100,000
17		リコール費用	2023.11.26	広島県	福山	あんしんフード君	食品製造業 食料品販売業	11,100	製造した商品にプラスチック片が混入しており、身体的被害発生のおそれがあるため回収を行った。各種費用にてリコール費用を支払った。	-	リ：83,567 計：83,567	

支払い日(2024.2.1～2.29抜粋)

※太字の箇所は共済金が100万円を超えるもの。

※ご加入された支部・支所と営業所在地が異なる場合があります。

賠：生産物賠償金、施：施設賠償金、受：受託賠償金、休：店舗休業補償金
特：特別費用、被：被害者治療費等、生：生産物自体の損害、消：消毒費用
リ：リコール費用、旅：旅館宿泊者賠償金、計：合計共済金

(食品衛生協会会員の皆様へ あんしんフード君・スーパーあんしんフード君)
現金盗難等補償特約のご案内

三井住友海上火災保険株式会社
広域法人部営業第一課

VOL.234

現金(売上金等)・小切手などの盗難・火災・水災(台風等)等に対する備えは万全ですか？

次のような場合に補償されます。(オール・リスク条件で補償されます。)

店舗(事務所)に
おける盗難



店舗外券売機の盗難



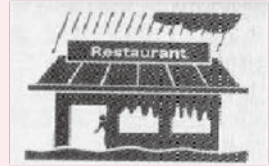
輸送中の強盗



火災



火災(台風・大雪)



実際の保険金支払い事例と支払い限度額と年間掛け金のご案内

実際の保険金支払い事例

- 加入者店舗の閉店後に空き巣が侵入し、券売機と両替機内にある現金が盗難の被害に遭った。 ⇒ 334,110円お支払い。
- 店舗の窓ガラスを割られ、金庫内に保管していた現金および金券が盗難被害にあった。 ⇒ 50,000円お支払い。
- 令和元年台風19号による避難指示警戒レベル5の該当エリアとなったため、避難した翌日、加入者が店舗を確認したところ、金庫内およびレジに保管していた現金が盗まれていることがわかった。 ⇒ 4,808,000円お支払い。

- 支払い限度額と年間掛金(※拠点数(店舗数) 25拠点以内の場合)
 - ・ 補償限度額100万円 (Aプラン) 年間掛金10,000円
 - ・ 補償限度額300万円 (Bプラン) 年間掛金20,000円
 - ・ 補償限度額500万円 (Cプラン) 年間掛金30,000円

この広告は補償の概要を説明したものです。詳細については、パンフレットにてご確認ください。

》ご興味のある方はお近くの普及推進員までお問い合わせください。

取扱幹事代理店：株式会社フードセーフティ企画
TEL：03-5830-7201(平日 9:00~17:00)

住所：東京都台東区寿4丁目15-7(7階)
承認番号：B23-101134 承認年月：2024年2月

ジブラルタ生命は、食協生命共済保険取扱会社です。

ジブラルタ生命保険株式会社 VOL.234

お客さまの
生涯を見つめる
ジブラルタ生命



生涯を通じて必要な資金を一緒に考えてみませんか？

「9+1の安心」

- | | | | |
|-----------|-----------|-------------|-------------|
| ① 毎月の生活資金 | ④ 住宅資金 | ⑦ 相続対策資金 | |
| ② 教育資金 | ⑤ 死後の整理資金 | ⑧ 長期療養資金 | + ① 老後の生活資金 |
| ③ 結婚資金 | ⑥ 緊急予備資金 | ⑨ 親の生活・介護資金 | |

ジブラルタ生命のライフプラン・コンサルタントは、お客さまそれぞれの状況に応じて、保険によって備えておくべき経済的なリスクを「9+1」の資金に分類し、万一の死亡や不測の入院などに際しても、ご家族が困ることの無いよう最適なプランのご提案を行っています。詳しくは当社のライフプラン・コンサルタントにご相談ください。

ジブラルタ生命保険株式会社

本社/〒100-8953 東京都千代田区永田町2-13-10

ジブラルタ生命のホームページ <https://www.gib-life.co.jp/>

コールセンター

0120-37-2269

【受付時間】平日 9:00~18:00 土曜 9:00~17:00
(日曜・祝日・12/31~1/3を除く)



出版

INFORMATION

担当:出版部普及課
E-mail:fukyuuka@jpha.or.jp

新刊のご案内



↑ 食品衛生関連図書のご購入はこちらへ

新訂 食品衛生責任者ハンドブック 第3版



「新訂 食品衛生責任者ハンドブック」は、令和2年1月17日薬生食監発0117 第1号厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課長通知「食品衛生責任者の取扱いについて」に示されたカリキュラム・時間に合わせた内容を盛り込み、食品衛生責任者養成講習会用テキストとしてご活用いただいています。

本書は2年ごとに改訂することとしており、令和6～7年度(令和6年4月～令和8年3月)は第3版をご利用いただくこととなります。

第3版は、**食中毒統計資料を最新のものに更新**した他、改訂された「小規模な一般飲食店事業者向け HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」について、**変更点の解説を加える**等の修正をいたしました。併せて**集合型講習会用スライドデータおよびeラーニング用動画**も修正いたしました。第3版は鮮やかなオレンジ色の表紙です。

食に携わる方がたに欠かせない情報が満載の本書を引き続きご活用ください。

■ 体裁：A4判 272ページ 本文カラー印刷 ■ 定価：880円(税込) ■ 発刊：2024年2月

HACCPの考え方を取り入れた衛生管理計画・記録簿

平成30年6月、食品衛生法の一部改正により、原則として製造・加工、調理、販売等を行うすべての食品等事業者を対象にHACCPに沿った衛生管理が制度化されました。これに際し、当協会では小規模な一般飲食店事業者を対象とする『HACCPの考え方を取り入れた衛生管理のための手引書』を作成いたしました。

本記録簿は、この手引書で示した記録様式を実際の記録簿としてご使用いただけるよう作成したものです。記録簿に衛生管理計画を書き入れ、**日々の実施状況を記録・保管**できます。各種記録用紙を12か月分収載していますので、**一年をとおしてご使用**いただけます。「**毎月の振り返り**」用紙も収載し、毎日実施・記録したことを効率的に振り返ることができます。また巻末には、衛生管理の年間計画を作成、実施するための「**毎年の衛生管理計画と実施記録**」の用紙も収載しています。



■ 体裁：A4判 80ページ ■ 定価：330円(税込) ■ 発刊：2024年2月

送料 1回のご注文金額が税込で3,000円以上はサービス、3,000円未満は一律500円(ただし送付先が1か所の場合のみ)

4月号の内容

食と健康

食品衛生研究

月刊「食と健康」

- 特集** 令和6年度食品衛生指導員巡回指導 重点指導目標
「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の定着と振り返り～食の安心・安全・五つ星でバッチリ～」
- ◆現場で役立つ食品衛生知識：その料理、提供できますか
 - ◆食協事業：HACCP浸透への取組み～誰も取りこぼさないHACCP指導・研修～(愛知県支部 豊橋支所)
 - ◆指導員のひろば：わたしの食品衛生活動～HACCPの取組み～(大阪支部 中央支所)

月刊「食品衛生研究」

- ◆欧州食品安全機関EFSAにおける残留農薬等の食事性ばく露量の推計精緻化に向けた取組み：加工食品中の残留農薬等の評価のための逆算係数RFおよび加工係数PF
- ◆【開催報告】国際シンポジウム：コーデックス60周年記念イベント・国際食品安全の今後10年先を見据えて

定期購読・書籍のご注文、お問い合わせは **公益社団法人日本食品衛生協会 出版部普及課まで**
TEL 03-5830-8806 FAX 03-5830-8810 メールアドレス fukyuuka@jpha.or.jp

編集後記

研究所の近くで、新しいランドセルを背負い楽しそうに登校する子供たちを見ました。あらためて新年度の始まりを感じました。弊紙では今後も皆さまの興味感心が湧く情報をご提供いたします。本年度も日食協ニュースをよろしくお願いたします。(斎藤)